

学校環境の整備 **（不登校対策事業、小中学校施設補修整備事業、部活動など）**

アナ： 「市長が語る 2025 三島」第13回の今日は、「学校環境の整備」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： はじめに、市立中学校の部活動についてお伺ひします。三島市には、部活動を通して、様々な分野で活躍されている生徒さんがいると聞いています。一方で、部活動を行っていく上では、生徒数の減少により、チームが成り立たない等の課題も出てきていると聞きました。

市長： そのような課題に取り組むために、今年度、新たに学校教育課に「部活動推進室」を設置し、専門の「部活動コーディネーター」を配置しました。「部活動推進室」は、部活動に関わるみんなのウェルビーイングをめざし、市内中学校における部活動運営の円滑化と効率化、また、地域や関係団体との連携を段階的に強化し、部活動の質を維持・向上させることを目的としています。

アナ： 学校現場には、「部活動指導員」と呼ばれる方々も配置されているそうですね。

市長： はい。各中学校には部活動指導員がおりまして、生徒たちの活動をサポートしています。「部活動指導員」の存在は、教職員の負担を減らしつつ、生徒の自主性を伸ばすことにもつながっていると思います。

アナ： 次に、不登校の子どもたちへの取り組みについて伺います。中学校において、教室に足が向かない生徒さんの居場所として、「校内支援室」が設置されていますね。

市長： はい。三島市では、学校には登校できても、所属学級に入れない生徒への学習支援などを行うため、「校内支援室」を令和5年度から順次設置してきました。今年度、新たに錦田中学校に開設することで、市内すべての中学校への「校内支援室」の設置が完了します。

アナ： 「校内支援室」では、どのような支援が行われていますか。

市長： 「校内支援室」には教員免許を持った支援員を配置し、一人ひとりのニーズに寄り添う形で、生徒を支援しています。学習の方法や進め方などは、生徒の自主性を尊重しながら、必要に応じてアドバイスを行っております。また、個別相談にも対応しています。

アナ： しっかりと話を聞いてもらえるということで、学校生活に不安のある生徒さんにとっては、不登校を未然に防止することにもつながりますね。

市長： はい。「校内支援室」の効果は大きいと考えています。また、支援が必要な児童生徒へのサポートという意味では、各学校に派遣している「スクールソーシャルワーカー」も、重要な役割を担っています。

アナ： 続いて、小中学校の施設整備について伺います。子ども達が安心して学校で過ごすためには、老朽化が進む校舎の改修はとても重要ですが、今年度は主にどのような改修工事を予定されていますか。

市長： はい。老朽化対策のための長寿命化改修工事といたしましては、昨年度からの継続工事として、北上小学校の校舎及び体育館と錦田中学校の南校舎、そして、今年度から実施する工事として、中郷小学校の北校舎におきまして、老朽化の程度に応じて、外壁や屋上の防水工事、内装やライフラインの改修、照明のLED化、エアコンの改修などを行います。

また、エレベーターのない錦田中、北上小には、バリアフリー化のためにエレベーターを設置します。

さらに、東小学校におきましては、今後、老朽化している北校舎を解体し、複合施設とするため、南校舎を増築するとともに、エレベーター棟を設ける工事を行います。

アナ： 校舎をより長く安全に使えるようにするための大切な工事ということですね。子どもたちの安心・安全な学校生活のために、様々な事業が予定されていることが分かりました。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。